

# ICT活用

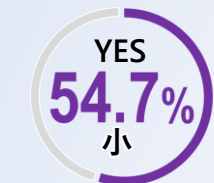
昨年度よりも  
改善は進みましたが…

- より具体的な活用方法を探りましょう！
- ◇資質能力の育成に！
- ◇学習時間の効率的運用に！

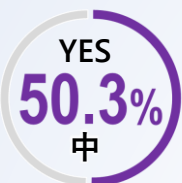
学校で週3日以上ICTを使用した。

ICTは勉強の役に立つ。

ICTを活用した校務の効率化に取り組んだ。



全国 58.2%



全国 50.9%



全国 94.4%



全国 92.6%



全国 95.0%

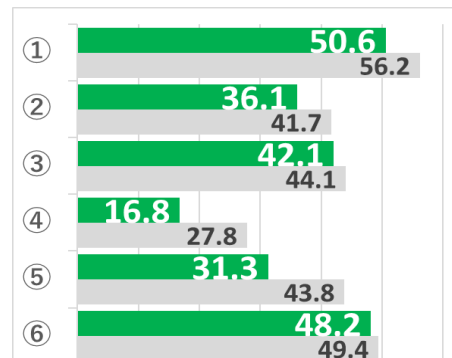
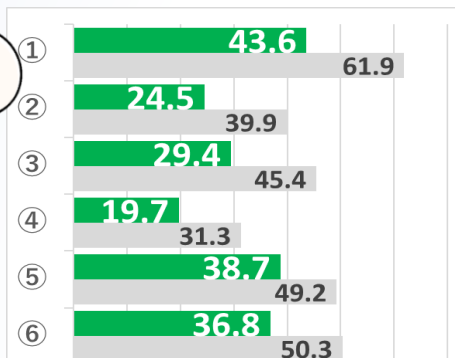


全国 94.3%

ICT機器を週3日以上  
活用した取組を行った。

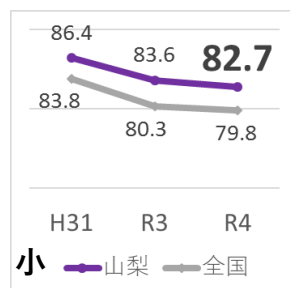
具体的な場面  
での活用が課題！

- ①自分で調べる
- ②自分の考えをまとめ、発表・表現する
- ③教職員とやりとりする
- ④児童生徒同士がやりとりする
- ⑤学校外の施設にいる人々とやりとり
- ⑥教職員と家庭との連絡



将来の夢や目標をもっている。

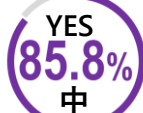
将来の夢や目標の項目  
が全国的にも減少傾向。



学校に  
行くのは  
楽しい。



全国 85.4%



全国 82.9%

困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる。

児童生徒が安心して学べる環境を作りましょう。



全国 68.1%



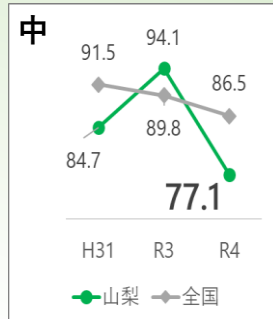
全国 66.6%

コロナ禍の  
子供たちは…

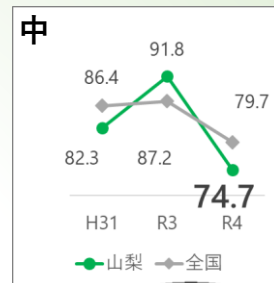
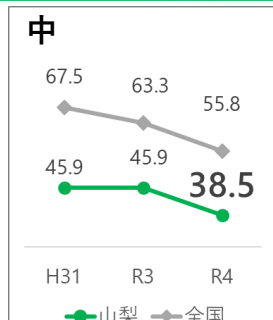
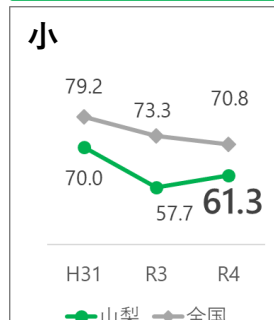
## 地域連携

保護者や地域の人々との協働による取組は、  
学校の教育水準の向上に効果があった。

教育課程の趣旨を  
家庭や地域と共有した。



地域学校協働本部やコミュニティ・スクールの  
仕組みを生かして活動を行った。



家庭・地域と連  
携・協働を図り  
ましょう！

児童生徒質問紙項目 学校質問紙項目

## 児童生徒質問紙

失敗を  
恐れなくて  
挑戦して  
いる

人が困って  
いるとき  
進んで助けて  
いる

友達と協力  
するのは  
楽しい

自分には  
よいところ  
がある

やると  
決めたことは  
やりとげる

いじめは  
いけない

## いじじゃん！やまなし22

児童生徒一人一人の可能性を引き出し 自己有用感を高める山梨の教育

学級全員で  
取り組んだり  
挑戦したりする  
課題を与えている

努力すべき  
ことを意思決定  
できる指導を  
行っている

児童生徒一人  
一人のよい点や  
可能性を見つけ  
評価する取組を  
行っている

実践的な  
研修を行って  
いる

校外の各教科等  
の教育に関する  
研究会等に定期的  
継続的に参加  
している

## 学校質問紙

※ 質問紙において肯定的な回答が全国と比べて比較的高い回答



# 令和4年度 全国学力・学習状況調査 児童生徒質問紙調査 学校質問紙調査から

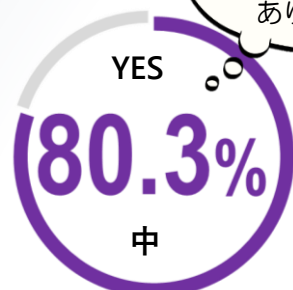
## 主 対 深 の視点からの 体的・ 話的で い学び 授業改善

授業中、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる。

肯定的に回答した児童生徒ほど、正答率が高い傾向にあります。\*

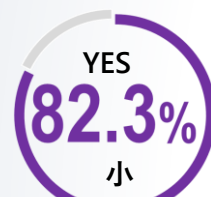


全国 77.3%

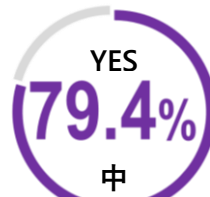


全国 79.2%

分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができる。



全国 78.2%



全国 74.7%

国語、算数・数学、理科の勉強が好きだ。

小学校 国語



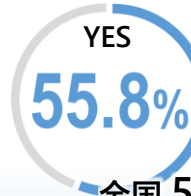
中学校 国語



小学校 算数



中学校 数学



- 主対深の視点からの授業改善を！
- 知的に自立する児童生徒の姿が現れている。

目的に応じて文章を読み、感想や考えをもったり自分の考えを広げたりする授業を行った。



全国 95.6%

国語



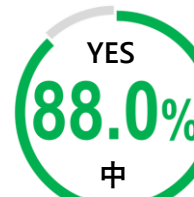
全国 95.8%

実生活における事象との関連を図った授業を行った。



全国 84.3%

算数・数学



全国 82.8%



全国 94.2%

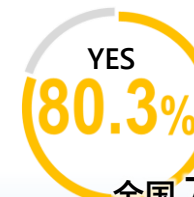
理科



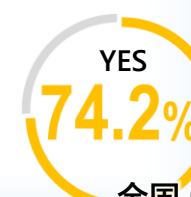
全国 96.8%

- 「各教科の勉強が好き」という肯定的な回答が多い。こうした児童生徒の思いが主体的な学びに繋がるように、更なる授業改善を！

小学校 理科



中学校 理科



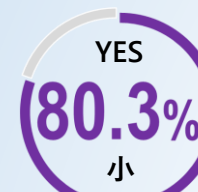
# やまなしをみる！

山梨県教育委員会では、授業改善による確かな学力の育成を推進しています。質問紙調査の結果から、山梨県の現状や課題を明らかにし、よりよい学習環境づくりの一助としていきます。

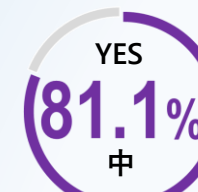
児童生徒質問紙項目 学校質問紙項目

## 自己有用感

自分には、よいところがある。

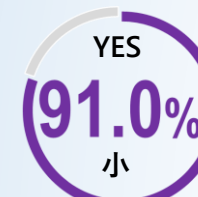


全国 79.3%



全国 78.5%

先生は、あなたのよいところを認めてくれている。



全国 87.1%



全国 86.6%

- 日々の学級経営・ホームルーム経営の充実に支えられた児童生徒の高い自己有用感がうかがえる！

学校生活の中で、児童生徒一人一人のよい点や可能性を見つけ評価する（褒めるなど）取組を行った。



全国 98.7%



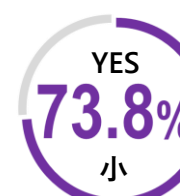
全国 98.1%

児童生徒が主体的に取り組む家庭学習を目指しましょう！

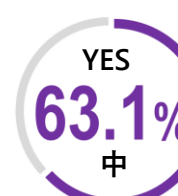
## 家庭学習

- 教職員の共通理解を図り、具体的な学習方法の例示やICTの活用など継続的な取組をする！

家で、自分で計画を立てて勉強をしている。



全国 71.1%



全国 58.5%

平日、1日2時間以上、ゲームをしている。

ゲームの時間が増えるほど、正答率は低い傾向にあります。\*



全国 50.2%



全国 50.3%

平日、1日1時間以上、勉強をしている。

